

岩手大学 環境と知財研修会

「環境・伝統・知財との接点を求めて」

研修会資料

平成 18 年度現代的ニーズ取組支援プログラム

「各学部の特徴を生かした知的財産教育」



岩手大学

平成 18 年 6 月 4 日 (日)

岩手大学現代 GP 主催 「環境と知財現地研修会」趣旨

岩手大学は、環境教育と連携し全学的知財教育に取り組んでいます。教育プログラムは、各学部の特性を生かして考えられています：[農・工学部] 研究成果を活用しビジネスに結びつく実務的能力の涵養、[人文社会科学部] 法制度の実務的・法律的理解を深め弁理士へのチャレンジを可能な内容とする、[教育学部] 附属小学校等での教育実習を通じて子供知財教育する方法を開発する。

ところで、知財の基本であるアイデアを生み出す力は、基礎的な学習の上に成り立つものです。牛が草を食べないとミルクを出せないように、新しい発明といっても、それまでの研究成果を踏まえて生まれるものです。新しいデザインといっても、太古の昔より人類が培ってきた模様から、ヒントが得られたりしています。アイデアは、基礎的なデータを収集して、十分にそしゃくし、新しいデータの組み合わせを見つけていくという作業を経て発見されます。アイデアが新奇で特殊なものになるためには、既存の要素の確かな学習が必要です。

知財教育は、先端的な研究を見究めていく作業と、伝統的な技術に目を向けていく2つの方向性があると思われます。そこで、今回の現地研修会は、現代GPの基礎的教育の一環として、旧松尾鉱山新中和処理施設を訪ねて環境と環境技術の問題に目を向けるとともに、石鳥谷の酒蔵、歴史民族資料館を見学し、伝統技術の掘り起こしを通じて、知財とのかかわりを考えていく場としていきます。

コーディネーター：佐藤祐介（地域連携推進センター）

インストラクター：松岡勝実（人文社会科学部）

「環境と知財現地研修会」行程表

平成 18 年 6 月 4 日（日）

8:15 岩手大学学生センター前 盛岡駅西口 盛岡 IC（東北自動車道）
松尾八幡平 IC

10:30 旧松尾鉱山新中和処理施設到着、処理施設見学

11:00 旧松尾鉱山新中和処理施設到着、処理施設出発 松尾八幡平 IC
盛岡 IC

12:00 盛岡駅西口（午前中の見学者のみ下車） 盛岡 IC 紫波 IC

12:45 酒匠館、農業伝承館、歴史民族資料館到着（昼食）

1:45 酒匠館、農業伝承館、歴史民族資料館見学

2:45 酒匠館、農業伝承館、歴史民族資料館出発

3:00 いわて花巻空港*** 花巻 IC 盛岡 IC

3:45 盛岡駅西口

4:00 岩手大学学生センター前

*旧松尾鉱山新中和処理施設見学は、日曜日のため処理場建物内の説明等、案内は行われ
ない予定です。構内敷地内のみ見学になります。

**道の駅に併設されているため、レストラン、コンビニ等がございます。

***希望者がいる場合のみの経由となります。